

「特別史跡加曽利貝塚新博物館基本計画」の策定について

1 策定の趣旨

貝塚を中心とする縄文文化の研究とその成果を発信する拠点として、史跡のガイダンス機能等を備えた新たな博物館を整備します。

縄文文化とSDGsを学ぶことができる博物館を目指し、その事業活動計画や施設計画、管理運営計画等をまとめ、基本計画として策定したものです。

2 概要

(1) 全6章による構成

- 第1章 新博物館の基本的な考え方
- 第2章 事業活動計画
- 第3章 施設計画
- 第4章 展示計画
- 第5章 管理運営計画
- 第6章 整備に向けて

(2) 事業手法

設計・建設の段階から運用のしやすさなどを見据えた整備が期待でき、トータルコスト面で優位なDBO方式を採用します。

(3) 概算整備事業費（建築設計・工事費、展示設計・製作設置費、備品・開設準備費）

約50億円（消費税込み）

※博物館の想定延床面積は約4,800㎡

※造成等に要する事業費や運営費は要求水準書を作成する中で精査していきます。

(4) スケジュール

令和4年度から要求水準書の作成に着手。令和9年度の開館を目指します。